

「APRU 国際政策諮問委員会」にて出席し、活動報告を行いました（2017/03/23-24）

テーマ：国際連携、APRU, マルチハザード
場所：香港大学

3月23-24日に、香港大学にて開催されたAPRU国際政策諮問委員会に当研究所 情報管理・社会連携部門の泉貴子特任准教授が出席し、これまでのAPRUマルチハザードプログラムの活動成果と2017年度の活動予定について発表しました。この諮問委員会には、約15名のAPRU加盟大学の理事・副学長が委員として出席し、年一回開かれています。APRU本体の活動計画、マネージメント、方向性やビジョンを議論し、決定するための重要な会議です。

当研究所はAPRUマルチハザードプログラムの事務局としての機能を担っており、災害に関する共同研究、サマースクール、キャンパスセーフティープログラムに加え、国際およびアジア地域にて政策策定課程での議論に貢献することを目標としています。APRUは2017年度の重要目標として政策への貢献を掲げています。マルチハザードプログラムこれまで、国連世界防災会議をはじめ、防災グローバルプラットフォーム、アジア防災閣僚会議、UNISDRアジアパートナーシップ会合などの議論に積極的に参加し、学術の防災への役割の重要性について働きかけてきました。2017年度も、引き続き防災グローバルプラットフォームや、11月に仙台で開催される世界防災フォーラムにて、セッションや展示を開催し、学術の防災での役割や、科学技術の貢献の重要性、その他のステークホルダーとの連携推進などに貢献していきたいと考えています。



泉特任准教授による発表



グループフォト

文責：泉貴子（情報管理・社会連携部門）